

2013 年 9 月 30 日

第 44 回「博報賞」受賞者決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 44 回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

今年度は団体 15 件、個人 2 件、合計 17 件の「博報賞」が選出されました。「博報賞」の贈呈式は、11 月 8 日(金)午後 4 時より、日本工業倶楽部(東京都千代田区)にて行われます。

■当事業の目的

当事業は、児童・生徒の「豊かな人間性育成」に尽力されている学校・団体・教育実践者の顕彰を通して、児童教育の現場を支援することを目的としています。

■賞の内容

「国語・日本語教育部門」「特別支援教育部門」「日本文化理解教育部門」「国際文化理解教育部門」「教育活性化部門」の 5 部門が贈呈対象であり、教育委員会、学識経験者など第三者から推薦された候補者の中から、審査委員会(委員長:新富康央 國學院大學 人間開発学部長)において審議決定されます。

受賞者には、賞状と副賞金(100 万円)が贈られます。また、受賞者の中から特に奨励に値するものとして「文部科学大臣奨励賞」が贈られます。

■今年度の受賞者

今年度は「国語・日本語教育部門」2 件、「特別支援教育部門」4 件、「日本文化理解教育部門」4 件、「国際文化理解教育部門」2 件、「教育活性化部門」5 件、合わせて 17 件に「博報賞」が贈呈されます。文部科学大臣奨励賞は 4 件に贈られます。各部門の受賞者は次ページをご覧ください。

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェロシップ」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会
博報賞担当
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

2013 年 9 月 30 日

第 44 回博報賞受賞者一覧

国語・日本語教育部門：2 件

京都府	精華町立山田荘小学校	「豊かな心は豊かなことばから…」ことばの学習を基盤に人間性の育成を図る
福岡県	竹添智美	歌人としての実績・スキルを活かした、中学校における国語表現の授業実践

特別支援教育部門：4 件

福島県	三春町立三春小学校★	ユニバーサルデザインの考えによる、子どもの想いや願いを大切にする授業の創造
東京都	私立日本聾話学校	聴覚障害児を「聴き、話し、歌う」子どもに育てる「聴覚主導の人間教育」の展開
静岡県	袋井市子ども支援室	「ひらがな読み調べ」から発展させた「ことばを育むプログラム」の推進
兵庫県	神戸市通級指導教室設置校園長会	幼小中の連携による配慮の必要な児童に対する効果的な通級指導システムの導入

日本文化理解教育部門：4 件

千葉県	我孫子市立布佐小学校	地域に学び、地域に働きかける、「布佐学習」による心情豊かな子どもの育成
新潟県	見附市立新潟小学校★	伝統の「獅子舞」の継承活動による、地域に誇りをもつ心豊かな子どもの育成
石川県	田鶴浜地方史の会	故郷愛を育み、郷土や社会に貢献する心を育成する「ふるさと歴史教室」の実践
愛媛県	子ども舞台芸術体験 サポートシステム後援会	地域の舞台芸術活動を活用した、情操豊かな子どもたちを育てる支援事業の展開

国際文化理解教育部門：2 件

愛知県	特定非営利活動法人シェイクハンズ	外国籍児童を対象とした地域との協働による日本語指導と居場所づくり
沖縄県	特定非営利活動法人 アメリカンスクール・イン・オキナワ★	アメリカンの子どもたちに対する英語と日本語による「ダブルの教育」の提供

教育活性化部門：5 件

長野県	松本市立源池小学校	相撲を中心とした、子ども・保護者・住民の連携による学校づくり・町づくり
新潟県	長岡市立南中学校	「平和学習」の取組みによる、郷土を愛し、志をもって生きる生徒の育成
新潟県	上越市立大手町小学校	子どもの想いや願いを生かす、先進的な「教育課程」の実践
京都府	共同学童保育所 虹の子クラブ★	「人間力を育む」= 社会人基礎力育成のための実践的保育
東京都	手島利夫	ESD の視点から日本と世界の教育活性化に挑む一人の校長の取組み

★印は博報賞にあわせて文部科学大臣奨励賞受賞